

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・国語科における学習指導の取り組みによって、読書に興味をもたせることができた。また、読みの指導と関連付けた指導が継続したことで、文学作品等、読書をする児童が多くなった。
- ・中学年では、各学習内に意図的に話し合いの場を国語科だけでなく、他教科にも広げて取り組み、話し慣れる機会を設けることで、他者と関わろうとする児童が多くなった。
- ・高学年では、人前で発表する機会を多く設けたことで、独話による発表に対する苦手意識を減らし、堂々と発表できるようになった。

(2) 課題

- ・既習内容の定着に個人差があり、個別対応が不十分な部分が多々見られた。
- ・読みの学習では能力差が大きく、叙述から想像することや、重要語句を見つけること、要約が十分に理解できない児童がいる。
- ・自分の思いや考えを伝えることに執着し、他者意識や目的意識を考えず、一方的に話を進めてしまう姿が見られた。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	おおむね目標値に同等、またはそれ以上の結果。		
第5学年	個人差はあるが、全体的に目標値を下回る結果。	全体的に目標値を大きく下回っている。	
第6学年	目標値と同等または下回る結果が半々であった。	全体的にほぼ目標値と同等。特に「漢字を書く」こと「文章の読み」「作文」に課題がみられる。	おおむね目標値と同等である。漢字やローマ字に関する言語事項は定着率が高い。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字や言語の意味などは正しく理解することができている。しかし、文章からの読み取りや考えを書く部分に課題が見られる。	目的に沿った内容で文章を書くことに課題が見られる。	全体的に意欲的に取り組んでいる。目標値および、それ以上の結果が出ている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の考えや思いを文字で書き表すことに課題が見られる。また、漢字の読みはおおむね出てきているが、書きの部分に課題がある。	言語の意味や使い方について、正しく理解している。 文章全体の構成を捉えながら、文章の叙述を読み取り、表現することに課題が見られる。	意欲的に学習に参加しようとしているが、既習内容の定着に個人差があり、児童によって取り組む姿勢がことなる。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科の学習において、担任が中心となって、文書の要約や読み取るポイントを指導し、読み取りの練習を繰り返すことで定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科以外の学習でも、考えや説明や各行事の振り返りなどを、短文で書き表す機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本の読み聞かせや対話などの機会を設けることで、国語科の学習への意欲を高める。</li> </ul>

#### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読む際の、要点や要約方法について、正しく指導を行う。</li> <li>国語科だけでなく、他教科でも感想や考えを書く機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と意見を交換し合ったり、話し合ったりする機会を設け、分かったことや気付いたことを発表する機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入時に児童に生活に身近な事柄や事象を取り上げ、授業への関心を高める。</li> </ul>